

施策 8：高齢者の安心・安全の確保

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるため、防火・防災、防犯、交通安全対策等、高齢者に配慮した社会環境の整備に努めます。

特に、近年台風等による風水害が多発しており、地震による大きな被害も予想されていることから、災害時要配慮者に対する体制の整備を行います。

また、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、高齢者に対する感染症対策の充実を図ります。

(1) 防災対策・災害時の支援体制の構築

災害時に何らかの支援や配慮が必要な方を登録した「災害時要配慮者支援台帳」などを活用し、南丹市消防団や自主防災組織をはじめ、各関係機関・団体等との連携のもと、安否確認や避難誘導體制などの支援体制づくりを進めるとともに、避難情報の確実な伝達、避難場所の確保、防災意識の醸成など、災害時における高齢者への支援の充実を図ります。

また、介護事業所等における避難訓練の実施、物資の備蓄状況や災害に関する計画の定期的な確認を促すなど、日頃から介護事業所等との連携に努めます。

■実績

項 目	実 績		
	2018年 (平成30年)度	2019年 (令和元年)度	2020年 (令和2年)度 (※見込値)
災害時要配慮者支援台帳登録者数	1,591人	1,577人	1,492人

(2) 感染症への対策

インフルエンザやノロウイルスをはじめとした感染症への対策については、これまでから予防啓発に取り組んでいますが、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、今後の備えと対応の体制整備について、改めて検討を進めます。

特に、感染症に対する備えとして、介護事業所等における訓練や研修の充実、代替サービスの確保に向けた連携体制の構築を検討します。また、感染症対策のために外出や交流を控える高齢者も少なくないことから、安心して通いの場を開催できるよう、最新の感染症予防対策等の情報提供を行います。

あわせて、高齢者の健康や命を守るため、感染拡大防止策の周知啓発を行います。